

令和5年度 各務原市立中央中学校 学校関係者評価委員会

【令和5年度 学校関係者評価委員】

民生委員児童委員協議会 会長	飯田 義美 様	陵南小校区主任児童委員	西尾 あき 様
中央小校区主任児童委員	山田 真紀 様	各務原高等学校 校長	細井 恒樹 様
岐阜各務野高等学校 校長	野田 正明 様	各務原市立中央中学校PTA会長	伊藤 嘉信 様

【ご意見・ご助言】

- ◇明確になった課題に取り組んでいく PDCA の仕組みができています。年度の活動を総括することで課題を明確にし、次の方針に反映させることで、結果の向上につながると思う。よい仕組みで運営されている。
- ◇PTA 活動についても一定の理解を得ていると結果から思う。旗当番の活動等、参加いただいていることが分かった。
- ◇カルチャーフェスティバルといった新しい試みがあり、子供たちも楽しく自己表現をする場にできたと思う。百人一首でも家庭で百人一首を購入して、家族でアプリを活用しながら練習するなど、家族のコミュニケーションの場にも役立ったというのが率直な感想であり、楽しめたと思う。学校生活の充実感につながっている。
- ◇授業では、全員が挙手する雰囲気があり、まちがえてもよいという気持ちで先生方が接してくださっていることが、自信をもって生徒が挙手し、自律的に学習できているのではないか。
- ◇毎朝、校長先生らが玄関に立ち、あいさつをさせていただいていることで、子供たちが元気に学校に行けるということや担任の先生が大好きという環境で学校に通うことができていることに感謝している。
- ◇活気がある授業、先生と生徒の温かな人間関係が分かる授業が行われている。向き合って話し合い、互いに意見を求め、リラックスして授業ができています。ジャージではなく、制服で授業を行っていることで、カチツとシャキツとしていて、頭髪の乱れもなく、生徒の姿がとてもよい。
- ◇保護者の回答率が100%とはいかなくても、子供のことを考えて、学校のことに興味をもって回答していただけるとよい。
- ◇中央小校区のふれあい広場に、ふれコミ隊の生徒たちが手伝ってくれた。快くよく仕事を引き受けてくれ、大人の対応ができる生徒たちです。地域の地下道の清掃を日曜日の早朝からしてくれていることは、とてもありがたい。
- ◇朝、小学生の登校支援の日に中学生にあうと、「おはようございます」と挨拶する生徒がとてもさわやかで、小学生には見習ってほしい姿である。また、制服が新しくなることを楽しみにしている。
- ◇タブレットを活用した学習により、静かに学習に取り組んでいる。生徒はたくさんの教科書をもっている。全教科書を持ち帰る指導ではないとお聞きし、体力的に心配をしていたが、自分で判断しているのであればよい。
- ◇タブレットの故障や破損があると思う。使い方を心配しているが、生徒は扱いに慣れていることが分かった。
- ◇高校でもアンケートによる評価を行っている。大人になってさらに良好な数値に変わっていけばよいが、高校生になるとできなくなる部分がある。例えば、自転車のヘルメット着用であれば、1年生は着用していたが、カゴに入れたり、持ってこなくなったりと、着用する生徒が減っていく。3年生になると着用していない。努力義務であるが、着用させることは、なかなか難しい状況である。
- ◇3年間で一番落ち着いた雰囲気がある。先生方と生徒たちが努力していることが分かる。
- ◇職員の働き方においても、勤務時間内にといいながらも休日に対応しなければならないこともあれば、保護者の都合で夜間に対応することもある。そういう業務については、小学校でも中学校でも同じだと思うが、簡単にはいかない先生方の苦労が高校にもある。
- ◇中学校で取り組んでいる話し合い活動(SS 活動)や探究的な学習活動は、本当に時間がかかる。高校でも行うが、履修内容の全てを行うには、授業時間が2倍必要になる。中学校で行っているような活動で子どもたちの力を伸ばしていけるよう、高校でも行っていきたい。